

## 『平成 22 年度 第 1 回地域力創造セミナー』開催のご案内

## ◆ 本セミナーの開催趣旨

国・地方の厳しい財政状況や人口減少社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催します。

## ◆ 第 1 回セミナーの開催日時、場所

- 日時：平成 22 年 11 月 10 日(水) 11:00～15:30
- テーマ：『地域力創造の現場から～都市農村交流、農商工連携による農村活性化～NPO「えがおつなげて」の活動から～』
- 場所：みずがきの宿 五郎舎(ごろうや) (<http://www.gorouya.enjoy-web-jp.com/>)  
NPO「えがおつなげて」活動拠点(山梨県北杜市須玉町小尾8658)

## ◆ 本研修の特長

- ★「地域人材ネット」へ登録の専門家等を講師・発表者として、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
  - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
  - ★セミナーを通じて、講師や受講者が自由に情報交換をすることでネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。  
地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

## ◆ 本セミナーの受講の対象者

- 地域活性化に興味を持つ、あるいは関連部署の行政職員
  - 地域活性化に興味を持つ団体職員、住民
- ※募集人数は 40 名程度を予定しております。申し込み多数の場合は先着順で地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数を有する方を優先させていただきます。

## ◆ 参加費

セミナー参加は無料ですが、昼食代(地産地消料理)として 1,500 円を頂戴いたします。(当日徴収)

## ◆ 応募方法

専用の申込用紙の必要事項を記入し、事務局宛に電子メールまたは FAX にて 2010 年 10 月 12 日(火)までにお申し込みください。受講決定は、10 月下旬に申込者へ直接お知らせします。

## ◆ 問い合わせ先

【セミナー全般等について：主催者】  
総務省地域力創造グループ 地域自立応援課  
TEL：03-5253-5394 FAX：03-5253-5537  
担当：秦野地域支援専門官、高橋係長、久永事務官

【お問合せ・お申込等について：事務局】  
みずほ情報総研株式会社 社会経済コンサルティング部  
担当：吉岡、余川(よかわ)  
TEL：03-5281-5406 FAX：03-5281-5443  
E-Mail：[chiikiryoku@mizuho-ir.co.jp](mailto:chiikiryoku@mizuho-ir.co.jp)

## ◆ 第1回セミナーの内容

1. 開会 (11:00)
2. 基調講演 (11:10~12:30 80分)  
 テーマ「えがおつなげて」の活動内容について  
 中山間地における農地の再生と都市農村交流、農商工連携による農村活性化  
 講師：NPOえがおつなげて代表理事 曾根原久司氏
3. 昼食 (会場となっている五郎舎の地産地消料理を解説付きでお取り頂きます)  
 (12:30~13:10 40分)
5. 取組報告 (13:10~13:40 30分)  
 テーマ：地域おこし協力隊に係る山梨県内での活動状況  
 報告者：山梨県農政部担い手対策室 室長 大島孝氏
6. 視察 (13:50~15:30 100分)  
 視察対象：「えがおファーム」ほか 視察内容：施設見学ならびに関係者との意見交換
7. 閉会・解散 (15:30)

## ◆ セミナー会場(みずがきの宿 五郎舎)までのアクセス

### ■ JRをご利用の場合

- ★ 韮崎駅-セミナー会場間で送迎バスを運行いたします。

#### 送迎バスの運行スケジュール

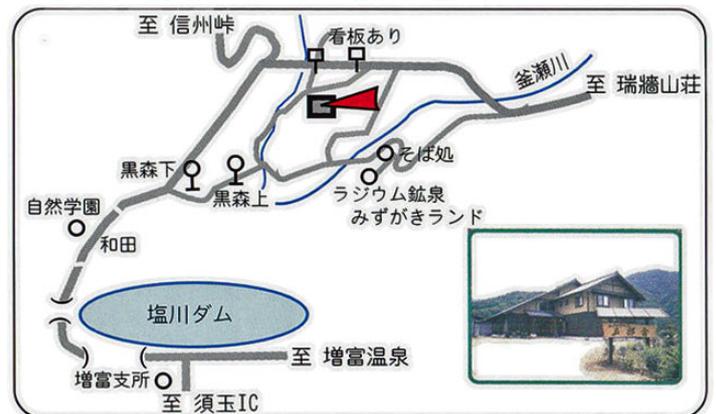
- ①往路(9時45分までに韮崎駅へお越しください)  
 韮崎駅 9:50 発→セミナー会場 10:40 着
- ②復路  
 セミナー会場 15:40 発→韮崎駅 16:30 着

#### 【ご参考】新宿駅から韮崎駅までのアクセス

- ①往路  
 新宿 8:00 発→甲府 9:29 着 スーパーあすさ5号  
 甲府 9:32 発→韮崎 9:45 着 普通
- ②復路  
 韮崎 16:53 発→新宿 18:36 着 あすさ26号

### ■ お車でご来場の場合

- ★ セミナー会場に駐車場を用意しております。  
 中央自動車道・須玉ICから 約40分(須玉IC→増富  
 ラジウムライン→みずがき湖→塩川ダム→五郎舎)



※会場の五郎舎は宿泊することができます。ご希望の方は直接予約して下さい。TEL 0551-45-0319

## ◆ 申し込み欄

氏名(ふりがな)	( )
E-mail アドレス	
電話番号	
ご所属	(所属名)
	(部署名) (役職名)
	(電話番号)
	(地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年
韮崎駅-セミナー会場間の送迎バス	<input type="checkbox"/> 利用する <input type="checkbox"/> 利用しない
本セミナー当日にお聞きしたいことがございましたらご記入ください	講師名： 質問：

複数名申し込みの際は、応募用紙をコピーしてください。

# 『特定非営利活動法人えがおつなげて』のご紹介

## ◆ 活動概要

農をはじめとした地域共生型のネットワーク社会を創ることを目的に、「村・人・時代づくり」を行っています。山梨県北杜市白州町を中心に、北杜市増富、南アルプス・八ヶ岳周辺、長野県飯島町、長野県小諸市、栃木県那須、茨城県常陸太田市、会津地域、三重地域、福岡地域、東京丸の内、などで、以下の活動を行っています。

えがおの学校、えがおの専門学校など農村都市交流マネジメントコーディネーター人材育成  
関東ツーリズム大学など都市のニーズと地域の問題解決を学ぶネットワーク

空と土プロジェクトや企業のはたけ倶楽部、やまなし企業ファームリーグなど、企業との連携での農商工連携、耕作放棄地解消活動

山梨エネルギーファーム、木質バイオマスなどエネルギー対策  
えがおファームによる農村都市交流プログラムやえがおマルシェによる農作物・加工品の販売他



## ◆ 表彰履歴

農林水産省(平成19年度)  
「オーライ!ニッポン大賞」受賞  
(財)あしたの日本を創る協会(平成20年度)  
「あしたのまち・くらしづくり活動部部門  
内閣総理大臣賞」受賞  
経済産業省(平成20年度)  
ソーシャルビジネス55選に選定  
SEOY日本プログラム(平成22年度)  
ファイナリスト選出



## ◆ プロフィール

設立：2001年2月

役員

代表理事 曾根原久司

1961年長野県飯田市生まれ。明治大学卒業後、フリーター、ミュージシャンを経て、金融系の経営コンサルトの道へ。バブル崩壊後、銀行などの経営指導に危機を感じ、95年、東京から山梨へ移住し、農林業を柱とした自給自足の生活を実践。01年NPO法人「えがおつなげて」設立。内閣府が選定する「地域活性化伝道師」235人中の1人に選ばれる。

えがおファーム農場長・理事 小黒裕一郎

1979年横浜生まれ。立教大学卒業後の4年間、自転車で日本・世界を旅した際に重要であると実感した自給的暮らしを実践するため、2005年に現在の居住地である山梨県北杜市に移住。NPO法人えがおつなげての農場・えがおファームの農場長として、持続可能な農業の実践と、農村を舞台としたグリーンツーリズムイベントの企画・運営を行っている。

本部所在地：山梨県北杜市白州町横手 2910-2

Tel:0551-35-4563 Fax:0551-35-4564

主要活動拠点：本部、開拓館[えがおつなげての古民家]、開拓館アネックス、えがおファーム & 都市農村交流センター鉾泉みずがきランド、東京事務所

URL：<http://www.npo-egao.net/>



# 山梨県の地域おこし協力隊

## 概要

山梨県で、40名の地域おこし協力隊員(農業協力隊員)を受入れ、JAや農業生産法人等の支援機関のもと各地域で活動。



## 内容

### 隊員の人材

・三大都市圏等の都市から男性35名、女性5名  
計40名を受入れ

### 設置根拠

・農業協力隊推進事業実施要綱

### 受入れ期間

平成21年10月～(平成23年度末まで)

### 活動内容

・農業活動(耕作放棄地解消作業、農作物の栽培)  
・地域おこし活動(地域共同作業、地域美化活動等)

### ポイント

・俳優の菅原文太氏をコーディネータとして、定住に向けた指導・助言、シンポジウムの開催。



農作業を行う隊員

## H22年度新規就農者確保・育成対策

### 新規就農対策(就農準備段階)

いつかは山梨で  
農業をしたい

本当に農業に向いている  
のか農作業を通じて確認

就農トレーニング塾の新設

農業協力隊

就農定着支援制度の新設

基礎より高度な技術を習得

果樹試験場における実践研修

親の跡を継ぎたい(学生・リターン)

農業大学校(本科・訓練科)

マッチング

就農相談会の  
充実

体験  
(交流促進)

就農を希望する  
若者との交流  
イベントの開催

### 担い手育成対策(就農段階)

就農時の初期投資や農地の確保を支援

園地リース促進制度の創設

〔リース用樹園地の整備を支援〕

機械等の初期投資軽減策の創設

〔就農に必要な機械・施設の導入を支援〕

いきなり独立の心配を解消(雇用就農)

農業生産法人の育成

〔JA出資型法人の育成、企業の農業参入、  
ふるさと雇用・農業協力隊による就農機会の確保〕

規模拡大に必要な経費や労力を支援

果樹農家規模拡大支援策の創設

〔規模拡大、省力技術の導入のための  
伐採に伴う無収入期間の経費等を支援〕

作業受委託組織の育成等

〔JA営農サポートセンターの拡大〕

栽培技術をサポート

〔普及指導員と篤農家が連携して支援〕

新規  
就農  
者  
等

担い手  
地域農業の  
リーダー

### 行政体制の強化

担い手対策室の創設

〔普及センター、就農支援センター、  
農業大学校との連携強化〕

### 現場でのバックアップ

ニューファーマー応援チームの創設

〔JAの支所、支店の範囲等で地域の実情に  
応じた担い手支援(オーダーメイド支援)を実施〕

### 試験研究の促進

省力化営農技術の研究を充実  
研究成果の早期普及  
(実証ほの設置、拡充)